



2027年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年6月15日

上場会社名 Terra Drone株式会社 上場取引所 東
 コード番号 278A URL <https://www.terra-drone.net/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 徳重 徹
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 関 鉄平 (TEL) 03(6419)7193
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年1月期第1四半期の連結業績(2026年2月1日~2026年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期第1四半期	1,010	6.6	△434	—	△325	—	△249	—
2026年1月期第1四半期	948	—	△283	—	△173	—	△149	—

(注) 包括利益 2027年1月期第1四半期 △480百万円(—%) 2026年1月期第1四半期 △373百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年1月期第1四半期	△25.65	—
2026年1月期第1四半期	△16.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年1月期第1四半期	6,580	4,672	68.1
2026年1月期	6,934	5,008	69.7

(参考) 自己資本 2027年1月期第1四半期 4,479百万円 2026年1月期 4,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年1月期	—	—	—	—	—
2027年1月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年1月期の連結業績予想(2026年2月1日~2027年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,073	6.1	△1,658	—	△1,419	—	△1,266	△131.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社(社名) Sora Consulting GmbH、Euro USC Netherlands

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年1月期1Q	9,745,300株	2026年1月期	9,718,000株
2027年1月期1Q	一株	2026年1月期	一株
2027年1月期1Q	9,730,894株	2026年1月期1Q	9,319,700株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想に関して

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年2月1日～2026年4月30日)におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を維持している一方で、世界的なインフレ圧力の継続や金融政策の変動、為替相場の不安定化に加え、中東情勢やウクライナ情勢をはじめとする地政学リスクの長期化により、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、各国において安全保障政策の見直しや防衛関連投資の拡大が進んでおり、無人システムを活用した新たな産業・防衛インフラへの需要が高まっております。

当社グループが属するドローン業界は、土木・点検・農業分野を中心とした社会実装が進展するほか、防衛・安全保障領域においても活用範囲が急速に拡大しており、国内外問わず市場規模は引き続き成長しております。このような環境の中当社グループは、2026年3月に防衛事業への本格参入を発表し、米国法人「Terra Defense」の設立準備を進めるとともに、ウクライナ企業との協業による迎撃ドローンの開発・展開を推進し、防衛分野における事業基盤の構築を進めております。また、近年、各国では無人システムに対する防衛需要が高まる中、当社グループにおいても、防衛領域を中長期的な成長分野として位置付け、グローバルでの事業展開を推進しております。

当社グループは、産業用ドローンを活用して社会課題の解決を目指すとともに、防衛分野における事業基盤構築を進める「ドローンソリューションセグメント」と、ドローンの運航管理システムであるUTM(Unmanned Aircraft System Traffic Management)のプラットフォーム構築を通じて、空のインフラ整備を目指す「運航管理セグメント」の2つのセグメントを有しております。各セグメントにおける当第1四半期連結累計期間における経営成績は以下の通りです。

(ドローンソリューションセグメント)

当セグメントにおいては、測量・点検分野を中心に国内外で堅調な成長が見られました。測量事業では、国内案件に加え、中東地域におけるインフラ関連案件が順調に推移いたしました。点検事業では、屋内点検用ドローンを活用した設備点検需要が引き続き拡大し、石油・ガス、化学プラント分野を中心に案件獲得が進みました。

農業事業については、東南アジアを中心に農薬散布サービスを展開したものの、一部地域において案件進捗が遅れが見られました。

以上の結果、当セグメントの売上高は848百万円、セグメント損失は235百万円となりました。

(運航管理セグメント)

当セグメントにおいては、海外を中心にUTM(運航管理)分野における案件獲得が進捗いたしました。特に欧州及び中東地域において、ドローン運航の安全管理や規制対応に関する需要が高まっており、Unifly NVを中心に各国政府機関や関連事業者との協議・実証実験を継続しております。

また、ドローンの社会実装拡大に伴い、防衛・物流・インフラ分野を横断した運航管理需要も拡大しており、当社グループが有するUTM技術及び運用知見を活かした統合的な空域管理プラットフォームの構築を推進しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は161百万円、セグメント損失は199百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は1,010百万円、売上総利益は448百万円、営業損失は434百万円、経常損失は325百万円、税金等調整前四半期純損失は334百万円となりました。法人税等合計が12百万円、非支配株主に帰属する四半期純損失が72百万円となったため、親会社株主に帰属する四半期純損失は249百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,682百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円増加しました。主な変動要因は、現金及び預金239百万円の増加、売掛金266百万円の減少、前渡金79百万円の増加となっております。

なお、固定資産は1,897百万円となり、前連結会計年度末に比べ411百万円減少しました。主な変動要因は、投資有価証券479百万円の減少、無形固定資産47百万円の増加となっております。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は合計で1,907百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少しました。主な変動要因は、火災関連損失引当金233百万円の減少、契約負債180百万円の増加となっております。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は合計で4,672百万円となり、前連結会計年度末に比べ335百万円減少しました。主な変動要因は、第10期定時株主総会決議に基づく剰余金の処分により、資本剰余金2,885百万円の減少、利益剰余金2,660百万円の増加となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年3月16日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,019,003	2,258,421
売掛金及び契約資産	1,516,089	1,249,649
商品及び製品	294,240	305,562
仕掛品	59,692	34,956
原材料及び貯蔵品	243,819	263,450
その他	533,622	609,025
貸倒引当金	△40,675	△38,195
流動資産合計	4,625,792	4,682,870
固定資産		
有形固定資産	744,787	740,514
無形固定資産	499,329	546,444
投資その他の資産		
投資有価証券	807,361	327,368
その他	315,537	340,721
貸倒引当金	△57,840	△57,840
投資その他の資産合計	1,065,058	610,249
固定資産合計	2,309,175	1,897,208
資産合計	6,934,968	6,580,079

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	399,162	321,669
契約負債	366,055	546,505
未払法人税等	32,876	22,734
有給休暇引当金	50,449	68,136
その他	842,829	728,344
流動負債合計	1,691,374	1,687,391
固定負債		
長期借入金	—	602
退職給付に係る負債	15,398	65,252
その他	219,573	154,070
固定負債合計	234,971	219,925
負債合計	1,926,346	1,907,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,657,440	1,681,448
資本剰余金	7,290,505	4,404,512
利益剰余金	△4,310,589	△1,650,175
株主資本合計	4,637,356	4,435,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,577	3,120
為替換算調整勘定	183,572	39,723
退職給付に係る調整累計額	881	872
その他の包括利益累計額合計	198,031	43,716
新株予約権	37,989	37,656
非支配株主持分	135,244	155,605
純資産合計	5,008,622	4,672,762
負債純資産合計	6,934,968	6,580,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
売上高	948,113	1,010,784
売上原価	524,791	561,960
売上総利益	423,321	448,823
販売費及び一般管理費	706,671	883,720
営業損失(△)	△283,349	△434,896
営業外収益		
受取利息	2,648	4,018
為替差益	—	64,010
補助金収入	172,778	43,717
その他	16,958	4,600
営業外収益合計	192,385	116,347
営業外費用		
支払利息	8,392	6,017
為替差損	33,625	—
持分法による投資損失	38,150	—
その他	1,926	900
営業外費用合計	82,095	6,918
経常損失(△)	△173,058	△325,467
特別利益		
固定資産売却益	2,186	—
特別利益合計	2,186	—
特別損失		
減損損失	—	8,928
固定資産除却損	5,080	101
特別損失合計	5,080	9,030
税金等調整前四半期純損失(△)	△175,953	△334,497
法人税、住民税及び事業税	22,130	3,222
法人税等調整額	2,085	△15,965
法人税等合計	24,215	△12,742
四半期純損失(△)	△200,168	△321,755
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△51,072	△72,168
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△149,096	△249,586

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
四半期純損失(△)	△200,168	△321,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,221	744
為替換算調整勘定	△112,088	△109,396
退職給付に係る調整額	△19	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	△45,614	△50,304
その他の包括利益合計	△172,944	△158,964
四半期包括利益	△373,112	△480,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△303,363	△403,901
非支配株主に係る四半期包括利益	△69,749	△76,818

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	ドローン ソリューション セグメント	運航管理 セグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	886,306	61,807	948,113	—	948,113
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	886,306	61,807	948,113	—	948,113
セグメント損失(△)	△120,727	△162,621	△283,349	—	△283,349

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	ドローン ソリューション セグメント	運航管理 セグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	848,975	161,809	1,010,784	—	1,010,784
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	848,975	161,809	1,010,784	—	1,010,784
セグメント損失(△)	△235,718	△199,177	△434,896	—	△434,896

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	105,641千円	109,415千円
のれん償却額	2,545千円	7,255千円